

特集

Good-by Campus!

— 3月、教壇を降りられる先生からのメッセージ —



先生方から紹介のあった、ご自身の著作の一部



各国語で「図書館」—— 天野先生自筆短冊

■天野敬太郎先生 生誕100年に寄せて

Good-by Campus!

— 3月、教壇を降りられる先生からのメッセージ —

新しい年が明け、学年末試験が終われば春休み。あっという間に3月の卒業シーズン。卒業生はいろいろな思いを胸にしながら東洋大学のCampusを後にすることでしょう。

時を同じくして、定年という形でCampusを去られる先生方が多数いらっしゃいます。その先生方に、図書や図書館に関わることを中心にアンケート形式でお尋ねしました。

卒業する人・在校する人共々にこれから過ごしてゆく時の流れの中で、ふと思い出すような本や言葉を見つけていただければ幸いです。

1. 先生から東洋大学学生にぜひ読んで欲しい本は？
2. 先生ご自身が影響をお受けになられた本はありますか？
3. 先生ご自身の著作または論文で学生にお薦めのものがありますか？
4. 先生の東洋大学在職中の思い出をお聞かせ下さい
5. 先生から学生へ一言メッセージをお願いします
6. 先生の今後の抱負をお聞かせ下さい
7. 最後に東洋大学図書館へのご要望がありましたらお聞かせ下さい

量 義治 文学部

4. 十年間の在職中に八本の博士論文の主査をしたことです。
5. 現実から逃避しないで、現実と対決してゆくように。
6. ①日本カント協会の委員長として学会の発展に力を尽くしたい。②フィヒテの翻訳を仕上げたい。③カント研究書を上梓したい。④代表をしているカンダエクレシア発展させたい。
7. 定年後も自由に使用させていただきたい。

神作 光一 文学部

4. 100周年の行事に参加できたこと、「百人一首」関係の仕事、数冊の図書館所蔵の「目録」編集の仕事に従事できたことなどです。
5. 在学中に、できるだけよい本にめぐりあってほしいものと念願しています。
6. 好きな仕事を選んで、一つずつ積みあげてゆきたいと思っています。
7. 長い間、お世話になり感謝しています。特色ある資料の活用を希望しています。

大島 建彦 文学部

4. 大学紛争の時期に図書館長を務めました。
5. 柳田國男先生の『民間伝承論』の序から、「学問と道楽との差は、必ずしも之に由って衣食する」と否とに由るもので無い。我々は仮にこの短い

堀 光男 文学部

4. 平凡な二十数年でしたので特別なことはありませんが、私の講義を数年にわたって熱心に聴いて、いろいろ話し合った方々のことが忘れられません。
5. 少なくとも適当な読書と思索によって、この広大な宇宙と永遠の時間の中で、今ここに生きている自分について考え、その意味と生き方を探ることを始めていただきたい。
6. これまで考え・書き・講義してきたすべてのことをまとめて、何冊かの本を書くつもりです。
7. 特にありませんが、もっともっと学生が図書館に親しみを感じ、読書への刺激を与えるような企画を望みます。

生涯の更に数千分の一しか是が為に割き費し得ずとも、それが偉大なる人間研究の片端であり、真理の殿堂の一礎石であることを意識することによって、明白に単なる遊戯趣味の生活と識別せられることが出来るのである」ということばを贈ります。

6. できるかぎり民俗の調査を続けたいと思っています。

桶谷 秀昭 文学部

5. 四年間をむだに過ごさないこと。語学（読み・書き）の勉強と歴史、哲学、文学の読書。
6. 著述業に専念します。

瀧田 夏樹 文学部

4. 着任後間もなく、全共闘学生運動がはじまり、それを期して、東洋大学が世界の大学の一つとして意識されるようになりました。苦しくはあったけれども、貴重な体験でした。教員・職員・学生とも真面目で清潔な印象は変わりません。
5. ニーチェは、人間を静止した状態ではその価値を認めず、常にそれを乗り越えていく動きのうちにとらえようとしていました。「教養」の真の意義を生きた、すぐれた教師でした。人間である以上、そうした快い緊張のうちに常に前進を！
6. 七十年の間にたまったものをすっかり洗って、サバサバと又歩き出すことになりましょう。具体的なことはまだ何もイメージに浮かんで来ませんが、新しいものを吸いこむためには、一度すっかり息を吐き出すほかありません。
7. おびただしい出版物のうち、どれが真の「教養」に資するものかは、なかなか判定しにくいことですが、学生・教員の意見や志向をよく判断して、図書や資料を備えていくようにして下さい。

大森 澄雄 文学部

5. “知識に貧欲になれ” “古典をよく読め” ということ。

6. 作句と古美術鑑賞と草引きとに明け暮れたいと思っています。

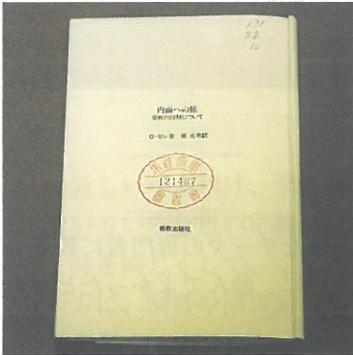
大野 正男 文学部

1. 同じ分野の同じようなテーマの専門書に数多く接する。そうした中に、読んでよかったと思える本が必ず見つかる。
4. 昭和30年から47年、半世紀近い在職。いろいろなことがあります。
5. ①都市型人間が「これで十分」と思う自然環境では、地球環境はまず守れない。どうしたらよいか。②「科学の目でものを見、芸術の心で感じ、哲学の頭で考え、人間の言葉で語る」これを、人間が人間として生きるときの努力目標にできたらと思う。
6. あと何年生きるかわからないのに、自分の仕事はこれからだと考えている。準備段階にある原稿が、印刷して10,000ページを超えるからである。すべての刊行は無理でも、それに近づける努力を続けたい。
7. 大学内外の利用者にとって、研究上頼りがいのある大学図書館・専門研究図書館として、充実・発展してくれたらと思う。

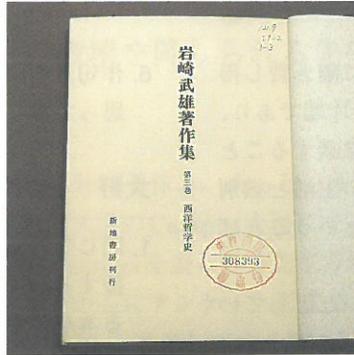
花崎 栄一 文学部

4. 東洋大学40年間の在職中で最も思い出に残った事は、文学部に「英語コミュニケーション学科」が新設されたことです。東洋大学における英語教育の向上を願っています。
5. 英語運用能力の向上を図るためには、カセットテープを使って、毎日欠かさず発声練習をすることが最も大切だと思います。出来れば30分間位やればよいのですが、最低15分間位は必要です。
6. 定年後は、英語会話の本を執筆したいと思っています。第2のライフワークにする積りです。
7. 英語会話・スピーチ・映画等のカセットテープを図書館が用意して、発声練習が出来るコーナーがあればよいと思います。

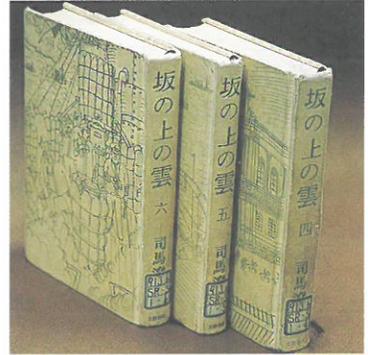
(6Pへつづく)



内面への旅／
Solle, Dorothee. (堀光男訳)
新教出版社



西洋哲学史／岩崎武雄
有斐閣

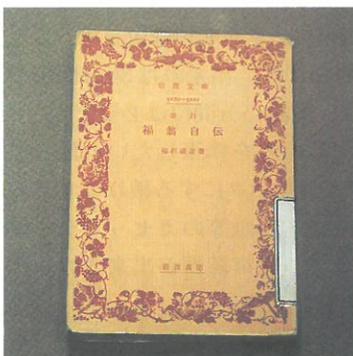


坂の上の雲／司馬遼太郎
文藝春秋

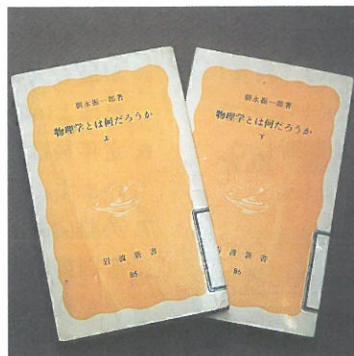
1. 先生から東洋大学学生にぜひ読んで欲しい本は？

氏名	書名	著者	出版社
堀 光男	内面への旅	Soelle, Dorothee. (堀光男訳)	新教出版社
量 義治	西洋哲学史	岩崎武雄	有斐閣
神作 光一	短歌青春 (勉誠新書16)	神作光一・大滝貞一編	勉誠出版
桶谷 秀昭	坂の上の雲	司馬遼太郎	文藝春秋
瀧田 夏樹	福翁自伝	福沢諭吉	岩波書店
大森 澄雄	古寺巡礼	和辻哲郎	岩波書店
大野 正男	科学者 レイチェル・カーソン	小手鞠るい	理論社
花崎 栄一	イギリス英語のイントネーション	O'connor, J.D. ・ Arnold, G.F.	南雲堂
八木 江里	物理学とは何だろうか (上下)	朝永振一郎	岩波書店
大蔵雄之助	「邪馬台国」はなかった	古田武彦	朝日新聞社
米田 公丸	フェルマーの最終定理	Singh, Simon. (青木薫訳)	新潮社
伯野 元彦	プロジェクトX —挑戦者たち—	NHK制作班	NHK出版

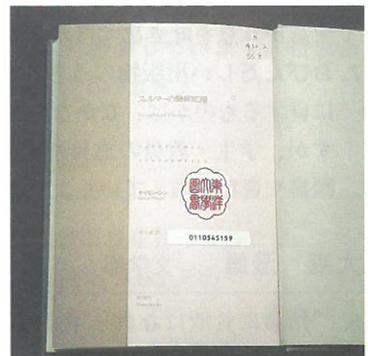
福翁自伝／福沢諭吉
岩波書店



物理学とは何だろうか／朝永振一郎
岩波書店

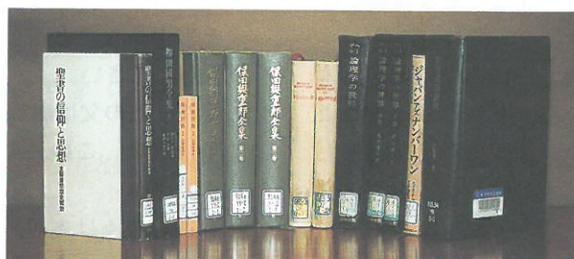


フェルマーの最終定理／
Singh, Simon. (青木薫訳)
新潮社



2. 先生ご自身が影響をお受けになられた本はありますか？

氏名	書名	著者	出版社
堀 光男	聖書		日本聖書協会
量 義治	聖書の信仰と思想	関根正雄	教文館
神作 光一	和泉式部研究	吉田幸一	古典文庫
大島 建彦	木綿以前の事	柳田國男	創玄社
桶谷 秀昭	保田與重郎全集 ドストエーフスキイ全集	保田與重郎 Dostoyevsky, F.	講談社 河出書房
瀧田 夏樹	魔の山	Mann, Thomas.	新潮社
大森 澄雄	暗夜行路	志賀直哉	岩波書店
大野 正男	日本生物地理	徳田御稔	古今書院
花崎 栄一	Intonation of Colloquial English	O'Connor, J.D.・Arnold, G. F.	Longman
八木 江里	量子力学	朝永振一郎	みすず
大蔵雄之助	平家物語		
米田 公丸	The theory of protection	Corden, W.M.	Oxford Univ.Press
松尾 徹	ヘーゲル論理学の世界	武市健人	福村書院
伯野 元彦	ジャパン・アズ・ナンバー・ワン	Vogel, Ezra F.	TBSブリタニカ



3. 先生ご自身の著作または論文で学生にお薦めのものはありますか？

氏名	書名	出版社
堀 光男	人間の生き方の探求	北樹出版
量 義治	市民のための哲学入門	理想社
神作 光一	百人一首の文化史 枕草子(上・中・下)	すずさわ書店 講談社・学術文庫
桶谷 秀昭	昭和精神史	文芸春秋(文春文庫)
瀧田 夏樹	川端康成と三島由紀夫をめぐる21章	風間書房
大森 澄雄	石田波郷	朝日書林
大野 正男	自然誌学への招待	平成14年刊行予定(新書)
花崎 栄一	Studies in the Aspects of English Intonation Information of News English and Political Speeches	DTP出版 エースプランニング
八木 江里	熱学第二法則の展開 Science & Society in Modern Japan	朝倉書店 Univ of Tokyo press & MIT press
大蔵雄之助	一票の反対	文芸春秋
伯野 元彦	被害から学ぶ地震工学	鹿島出版会

八木 江里 経済学部

1. 私が市民権の確立に努力してきた「科学（技術）史」を工学部（教養的科目）と経済学部（専門科目）に開講できて喜んでおります。
2. 楽しく、自分の夢を実現して下さい。
3. すでに広告も出している『クラウジウスの熱理論原典』（独語からの翻訳・東海大学出版会）を完成したいと思います。「日本における科学技術史の研究と教育」の市民権立について自由に体験的著作を発表するつもりです。
4. 学生さんに身近な情報提供の場所として役割を演じて欲しいと願っております。

大蔵雄之助 経済学部

1. 着任直後に新学部設立のための調査を委託され、開設の準備をしたことです。途中で辞任することになりましたが、今思い返してもなお胸の痛みを覚えます。
2. 乱読して下さい。若い時、特に学生時代ほど本が読める時期はありません。駄目な本もよりよい本を発見する過程です。社会に出て難題ととりくむ時、過去に読んだ本が手がかりを与えてくれます。
3. 教員委員とか番組審議委員とかを続けるか、理科系の大学に入り直して、もっと直接周辺の人々に役立つような道を選ぶか、体力にも学力にも限界があるため決めかねています。
4. コンピューター化をさらに進めて使いやすくすること。開館時間を延長すること。どちらもお金がかかることですが、是非実現して下さい。

米田 公丸 経営学部

1. 米国モンタナ大学に一年間交換研究員・客員教授として在籍、非常に有意義な日々を過ごすことが出来たことです。
2. 図書館を活用して、読書に親しんで下さい。
3. 天候が良ければ野外でゴルフなどのスポーツを続け、雨の日には語学、数学を勉強し、時々、海外の博物館を見学したいと思っています。
4. 今後とも内容の充実をはかって下さい。

松尾 徹 工学部

1. 教学改革による教養課程の解体、差し引き合計すると、教育面でのマイナスは明らか。
2. 文系と理系の間には、思考の方法や文化の様式に深い溝ができていて、互いに理解するのは困難であると言われる。中高教育もそれを助長している。
3. 自分の周りの世界が狭まらないように努力したい。

伯野 元彦 工学部

1. この10年間日本はバブル崩壊の坂道どころがり続け、最近では私の所属する環境建設学科の受験生が減り続けています。何とも仕方ないのですが残念なことです。
2. これからの日本では、一生に一つの会社だけに勤めることは無理になるかもしれません。将来そのようなことを考えて、広く色々なことを勉強して下さい。
3. 現在、私の父は満105歳で、まだ何とか杖なしで歩けます。この長寿記録を破ることが当面の目標です。
4. 現在、我々は本以外にも色々な手段で情報を手に入れます。現に私もシェイクスピアやトルストイなど読むと大変な時間がかかるものも、映画やビデオで数分の1の時間で見てしまっています。図書館も改革の時期かもしれませんね。

回答をお寄せいただきました先生方のみ掲載いたしました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

編集委員一同



天野敬太郎先生 生誕100年に寄せて

潮田 万弓

天野敬太郎先生は明治34年生、今年はなんと、生誕100年とお伺いした。

私たちが初めて先生にお会いしたのは大学2年生の頃か……30有余年の時空を超えていま、思い出されるのは、関西の方から何かその道のお偉い先生が来られるとか、クラスの中での情報通からそんなウワサが飛び交ったのだけはよく覚えている。

当時の友人に聞くと、先生にはゼミでご指導頂いたようである。目録法でだったような記憶もある。元来、先生は書誌・索引研究者でもいらしたからそのあたりの講義もあったはずである。私が今更、先生の業績を紹介するなどはここでの任ではない。先生が我々学生に教えたかった事は単なる図書館屋としての技術論ではなく図書館の理念（理想）としての哲学であったように思う。

私があらためて、先生を大変な方と認識させられたのは卒業後、数年後のことであった。たまたま参加させて頂いていた私立大学図書館協会の書誌作成分科会でのある日、課題としてあたえられたのは、教え子ということで当時の世話人、早稲田大学の深井氏より天野先生について話せということだった。多分、たっぷりの冷や汗をかいたことと思う。

蛇足ながら書誌作成分科会は今年で30年となるようだ。「書誌調査89」によれば70年夏頃、多田氏（東経）深井氏 丸山氏（慶応）村田氏（東洋）伊佐氏（実践）と稲村氏（国立国会）が発起人となって翌年1月に第1回の会を発足させた経緯が記されている。そして、当時、著名人であられた天野先生を東洋大学社会学部教授としてお迎えすることになったいきさつや、また和田吉人教授、武田虎之助先生のご尽力についてもふれている。…… 当時、若い図書館員たちが先生のお宅にお邪魔して書誌を中心に目録の話、索引の話、その他あらゆるテーマについてご指導をうけていた期間は先生のご定年になる5年間続いた……（多田二郎著「書誌作成分科会

発足当時』）とある。また、稲村徹元氏も若い司書たちの勉強会、いわゆる天野学校について記しておられる。記録をみるといつの世も司書の苦悩は変わらないと感ずる。大先輩たちはすでに、定年を迎えられたり鬼籍にはいられたりとの経過をせつなくも実感する年に私もなった。私自身、人事異動に伴い分科会から離脱し久しぶりに今回、資料を読み直しあれこれ思い出すことが多い。思い出の先生の姿は当時の蔦のからまる図書館の暗い書庫の中にある。コンピュータという言葉さえ我々にとってはなじみの薄い時代であった。コピー料金も格段に高価であったはずである。ノートだけはこまめに記録した。それが価値あるか否かなどとは考えもせず。正確に確実に誠実に、ただ、ひたすらと……先生から学んだことは多い。未だに記録することだけは好きである。手を使い記録したことは身体（頭脳）に定着する。ヒトの手と頭脳はコンピュータに替った。これを進化というのか。

ここ数年の図書館界は目を見張る展開である。これを、トレンドというのか、先生にお尋ねしてみたものである。

天野敬太郎先生 略歴

明治34年（1901）11月京都市生まれ。京都大学図書館司書、関西大学図書館司書等を経て、昭和42年（1967）4月より昭和47年（1972）3月まで5年間、東洋大学社会学部教授。

書誌（書誌の書誌）作成の大家。先生の業績については『図書館学とその周辺：天野敬太郎先生古希記念論文集』等を参照されたい。平成4年（1992）8月逝去、享年92歳。

（左上の写真は、昭和44年頃の授業風景）

PROFILE

潮田 万弓（うしおだ まゆみ）

1970年3月 東洋大学社会学部応用社会学科図書館学専攻卒業、校友

同年4月 北里大学教養図書館に就職

1986年5月 北里大学医学図書館に異動

2001年4月 北里大学教養図書館に異動、現在に至る。

I N F O R M A T I O N

図書館ニュース「コスモス」はホームページでご覧いただけます。
<http://www.toyo.ac.jp/libra/>

白山

●休日開館について

1月14日(月)・20日(日) 11:00～19:00

●春季長期貸出について

貸出期間 1月21日(月)～3月28日(木)

返却期限	1～3年生(含短大・通信生)	4月11日(木)
	卒業・修了予定者	3月20日(水)

※雑誌は通常通り1週間です。

※貸出冊数が上記期間に限り増えます。

図書 学部生(含、短大・通信生)は、10冊・院生は15冊
 視聴覚5点

●春季休暇中の開館時間について

3月1日(金)～4月5日(金)

月～木曜日 10:00～17:00

金・土曜日 10:00～20:00

※3月6日は14:00～20:00

●閉館のお知らせ

2月5日(火)～2月28日(木)

朝霞

●開館時間延長について

1月12日(土)・1月19日(土)

土曜日 9:00～18:00

※上記以外の土曜日は通常開館

※月～金曜日は通常開館

●休日開館について

1月20日(日)、1月27日(日) 11:00～18:00

●春季長期貸出について

貸出期間 1月23日(水)～3月30日(土)

返却期限	1～3年生	4月15日(月)
	卒業・修了予定者	3月20日(水)

※雑誌は通常通り1週間です。

※貸出冊数が上記期間に限り増えます。

図書(含雑誌)10冊・視聴覚資料5点

(但し、卒業・修了予定者については通常通り)

●春季休暇中の開館時間について

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

●閉館のお知らせ

2月6日(水)～2月16日(土) 3月5日(火)・6日(水)

2月25日(月)～2月28日(木)

工学部

●開館時間延長について

1月15日(火)～2月6日(水)

月～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～17:00

●休日開館について

1月27日(日)、2月3日(日) 10:00～18:00

●春季長期貸出について

貸出期間 1月28日(月)～3月18日(月)

返却期限	1～3年生	4月10日(水)
	卒業・修了予定者	3月8日(金)

※雑誌・視聴覚資料は通常貸出です。

●春季休暇中の開館時間について

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

●閉館のお知らせ

2月8日(金)～3月2日(土)

●春季休暇中に建築資料室の引越し・書架調整等を予定しております。このため、臨時に閉館する場合がありますので、掲示または図書館のホームページで開館予定をご確認ください。

板倉

●開館時間延長について

1月21日(月)～2月7日(木)

月～金曜日 9:00～19:00

●開館時間のお知らせ

2月18日(月)～3月30日(土)

月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

●春季長期貸出について

貸出期間 1月28日(月)～3月29日(金)

返却期限	1～3年生	4月12日(金)
	卒業予定者	3月14日(木)

※雑誌は通常通り1週間です。

●閉館のお知らせ

2月9日(土)～2月16日(土)・3月6日(水)

全館

●2月・3月は各館共に入学試験・蔵書点検等のため、長期の閉館が多く大変ご迷惑をおかけ致します。各館の開館日・開館時間を確認の上、ご利用ください。

●閉館期間中の図書の返却は、最寄図書館のブックポストにお願い致します。但し、雑誌・視聴覚資料は開館時に直接カウンターにご返却ください。

卒業(修了)生へ

●卒業式以降は校友登録の手続きをお勧めします。

校友登録方法は、卒業証書もしくは卒業証明書を持参の上、カウンターで手続きをします。「東洋大学図書館利用カード」を発行しますと図書館利用はもちろん、図書資料の貸し出しも出来ます。卒業後も本学図書館を多くにご利用ください!